

小美玉市議会令和6年第3回定例会一般質問通告一覧

日にち	質問順	議員氏名	質問内容
9月4日	1	戸田 大我	1.災害時の市民への支援体制について (1)火災や風水害が起こり全壊等の損害を受けた際の市民への支援体制について問いたい ①市の具体的な支援体制はどのようになっているかについて ②令和5年度における支援の実績について
			2.部活動の地域移行について (1)市は現在試行期間として外部の指導者や拠点校による実施等検証作業をされているところだが、現状と課題について問いたい ①実際の活動内容(内容・時間・曜日等)の状況について ②今年度から開始された拠点校における部活動と地域クラブとの連携状況、活動時間、市(学校)が関わっている内容等について
9月4日	2	真家 功	1. 百里基地対策について (1)特殊訓練について ①フランス軍との共同訓練における防衛省との事前調整の状況と市への情報提供 ②上記に係る周辺住民への周知調整状況 ③AGG訓練による騒音対策 (2)航空祭について ①周辺対策及び予行演習の特別公開 (3)百里飛行場周辺整備協議会との調整状況について
9月4日	3	長津 智之	1. 交通安全対策について (1)市のイベント、地域のイベント等で交通規制を伴う対策について ①警察署の規制強化と市の道路使用許可について ②新規制への市の対応について
			2. 企業誘致対策について (1)テクノパークへの企業の進出状況及び市の企業誘致事業の方向性等について
			3. BRT事業について (1)現在は石岡駅から新田木谷まで整備されておりますが、旧小川駅までの整備予定について
9月4日	4	谷仲和雄	1. 早期療育体制の整備における「こども家庭センター」と民間の「児童発達支援センター」との関わりについて 平成24年改正児童福祉法施行に伴い「障がい児施設と事業の一元化」、又、令和6年改正児童福祉法施行に伴い「こども家庭センター」の設置と「児童発達支援センターが地域における障がい児支援の中核的役割を担うことの明確化」や「児童発達支援センターの類型(医療型・福祉型)の一元化」が図られています。療育については発見が早期であればあるほど、より適切な対応が可能となります。妊婦や乳幼児に対しての各健診により疾病の早期発見につなげ、保護者が安心して育児に取り組めるよう支援していく観点から、障がいの早期発見、早期療育体制の整備が求められます。そうした中、市と児童発達支援に関する事業連携協定を結ぶ民間事業者により、8月1日、児童発達支援センターが市内に開設されています。児童発達支援センターについては、専門性の高さや専門の資格を有した人材の確保の難しさなど、自治体での直営が難しいのが現状です。早期療育体制の整備という観点から、民間による児童発達支援センターの機能を活用し、こども家庭センターが起点となって、より専門的な支援が必要な場合は児童発達支援センターをはじめとする専門的機関へ繋ぐことが求められます。以上の趣旨から、「こども家庭センター」と「民間の児童発達支援センター」との関わりについて、市の所見を求めます。
			2. 国民健康保険税の課税誤りを教訓とした再発防止マニュアルについて 本年7月3日に国民健康保険税の課税誤りについて市から説明がありました。令和5年度以前の国民健康保険税について一部の納税義務者の課税額に誤りが判明したとの報告で、その概要は租税条約に基づき市県民税が免税となった方について、国保税の算出に当たっては前年の所得を皆無とし、本来、課税すべき額と比べ低い額での賦課決定を行っていたとのことです。今後は、国民健康保険税の適正賦課に関するマニュアルを作成し、再発防止に努めるとともに国民健康保険税に限らず、その他の租税公課に関しても課税誤り等がないか、担当各課において改めて確認を行うとのことです。以上のことから、再発防止マニュアルの詳細についてお聞きします。

小美玉市議会令和6年第3回定例会一般質問通告一覧

日にち	質問順	議員 氏名	質 問 内 容
9月4日	4	谷仲 和雄	<p>3. 地域未来投資促進法を活用した企業誘致について 地域未来投資促進法を活用した企業誘致については、誘致したい企業と、誘致したいエリアが決まってから、地域未来投資促進法活用申請の流れになるかと思えます。これを踏まえ、(1)地域未来投資促進法を活用した企業誘致について、どのように考えているか、所見を求めます。また、(2)市は、どのような企業・業種に的を絞り誘致活動を展開しているか、お聞きします。</p>
			<p>4. 茨城空港のあり方検討会について 茨城空港の将来ビジョン(案)を提言する茨城空港のあり方検討会委員に小美玉市長が選出されていることを踏まえ質問します。 茨城空港の民航機着陸ルールの弾力的な運用を本県の更なる発展に繋げるため、有識者、県経済・観光団体や空港関係者等により構成する「茨城空港のあり方検討会」の第1回会合が8月1日に開催されています。この検討会は、年度内に4回程度の開催を予定しており、茨城空港が今後果たすべき役割や、茨城空港が役割を果たすために必要な取組や空港機能のあり方などについて議論の上、茨城空港が今後進むべき方向性、将来ビジョンの案を取りまとめることを目指すとのことです。小美玉市長も検討委員となっています。又、茨城空港が今後果たすべき役割として、県からは①茨城県の更なる成長、県民の豊かな生活を支える国内外との観光・ビジネスの拠点となる空港、②羽田・成田空港とともに関東圏3つ目の空港として、日本の国際・国内航空需要に対応する空港、③茨城県の被災時や首都圏直下地震などの大規模災害時に茨城県をはじめ周辺県の災害対応拠点となる空港の3点が提示されています。これらを踏まえ、茨城空港の将来ビジョンについて、地域に住む私たちが具体的にどうしたいのか。これをしっかりと纏め、空港の所在地である本市の立場から意見する責務が市長には有ります。そこで、市長が茨城空港のあり方検討会の議論に臨むにあたり、空港所在地である本市の立場から意見する内容の取り纏め等について、関係各課による調整等はどのように進んでいるか、問います。</p>
9月4日	5	石井 旭	<p>5. 基金繰入れ及び基金現在高に対する市の認識について 来年度予算編成についての市長通達、及び予算編成方針が例年10月に入ると示されます。予算編成において、歳入の根幹をなす市税の増加は見込みづらく、歳出では、人件費・扶助費・公債費の義務的経費が増加傾向にあることから、歳出見込額が歳入見込額を上回る歳出超過となり、補填財源として財政調整基金からの繰入れに依存する予算編成が常態化しています。こうした状況を踏まえ、基金繰入れと基金現在高の相関性という視点から、基金繰入れ及び基金現在高に対する市の認識について下記6点を質問します。 1) 予算編成における財政調整基金繰入金の位置付けについて。 2) 予算編成におけるふるさと応援基金繰入金の位置付けについて 3) ①財政調整基金の状況と今後の見通しについて、当該基金への積み立てを含め、問います。 又、②予算編成において歳出見込額が歳入見込額を上回るという歳出超過傾向の中、歳出超過額分については主に財政調整基金からの繰入れで賄われています。今後、何ら対策を打たずこれまで通りのペースで繰入れを続けた場合の当該基金現在高の推移シミュレーションはどのようになるかを問います。更に、③財政調整基金現在高が枯渇した場合にはどう対処するか、また、④そうならないための対策について問います。 4) 減債基金に対する考え方と今後の見通しについて。 5) 公共施設整備基金に対する考え方と今後の見通しについて。 6) 充当可能基金の適正な保持について、市の所見を求めます。</p>
			<p>1. 定額タクシー導入について (1) 県内の取組み状況 (2) 自動車運転免許証の返納状況(過去3年間) (3) 高齢者ドライバーの事故件数(茨城県) (4) 福祉タクシー券の利用状況(地区の傾向) (5) 福祉タクシー券と合わせて定額タクシーの導入を提案する市の見解を伺う</p>
			<p>2. 旧上吉影小学校跡地の有効活用について (1) 新まちづくり構想における小美玉温泉ことぶきと連携した旧上吉影小学校跡地利活用の検討状況について (2) 企業誘致に向けた思い切った施策の展開について</p>

小美玉市議会令和6年第3回定例会一般質問通告一覧

日にち	質問順	議員氏名	質問内容
9月5日	6	山崎 晴生	<p>1. 介護保険認定について (1) 今後高齢化の進展により介護保険認定申請は全国的に増加します。介護サービスを利用するには必要不可欠な介護認定が今後とも安定的に行われるよう以下の観点から質問させていただきます。 ① 現在の本市における介護認定の現状について ② 認定に要する期間について ③ 現在の課題について</p> <p>2. 女性消防職員の採用に (1) 現在、小美玉市における女性消防士の採用がない状態ですが、消防行政における女性採用は、多様性のある組織づくりや、人口減少による人材確保の観点からも注目されています。しかし、受け入れる為には本市において様々な課題があると考え以下の観点より質問させていただきます。 ① 現在までの女性消防職員の採用状況について ② 勤務環境について ③ キャリアパスについて</p>
9月5日	7	宮内 勇二	<p>1. 太陽光発電施設の取り扱いについて (1) 市内の設置状況について (2) 近隣トラブルについて (3) 今後発生するパネルの廃棄について</p> <p>2. 小中学生の学力向上について (1) 本市における現状と課題について (2) 市や学校の取り組みについて</p>
9月5日	8	鬼田 岳哉	<p>1. (株)小美玉ふるさと食品公社の経営状況・収益性向上に向けて (1) 市と公社の関係性/評価 ① 市と公社の具体的な関係性に関して ② 公社の経営状況に関する分析と評価 (2) 収益力強化に向けた取組み ① 公社から市に対する経営状況の説明機会 ② 公社に対する収益性向上に向けた要請状況</p> <p>2. 停電時の対策に関して (1) 停電対策の現況 (2) 本年7/27に発生した停電における市の対応 (3) 停電時の情報共有の手法 (4) 夏季停電時の熱中症対策に関して</p> <p>3. 遊具の充実化に向けて(こどもの遊び場確保に向けて) (1) 廃校に設置されている遊具の現況 (2) 学校校庭開放の検討状況 (3) 小美玉市管理公園施設整備事業補助金に関する効果検証</p> <p>4. 当市の創業支援に関して (1) 小美玉市創業支援事業の概要と実績 (2) 「そ・ら・ら」チャレンジショップの実績 (3) 当市独自の補助金制度導入に関して</p> <p>5. 市史編纂・歴史史料の管理状況に関して (1) 市史編纂事業の現況 (2) 小美玉市政20周年に向けた刊行物 (3) 地域資料・郷土資料の収集・デジタル化、および市民への公開に関して</p>

小美玉市議会令和6年第3回定例会一般質問通告一覧

日にち	質問順	議員氏名	質問内容
9月5日	9	福島 ヤヨヒ	1. 学校給食について (1)小学生の給食費無償化はどのように検討されているか (2)食育について ①給食の量と質は充分か ②食事時間は十分確保されているか ③食品ロスと給食の残量、食べ残しについて
			2. 脱炭素社会への取り組み (1)2050に向け省エネ対策は進んでいるか ①公共施設のLED化について ②省エネ機器への転換は ③体育館等の施設の断熱化は (2)自然エネルギーへの転換、太陽光パネル設置
			3. 救急対応について (1)救急車要請の対応と費用について ①費用の判断について ②一人暮らしの救急対応について
			4. 東海第2原発の避難計画は (1)ひたちなか市との受け入れに対する協定内容 (2)避難者に対する対策 ①食料、日用必需品等備蓄品について ②受け入れに対する人的体制は (3)市民の避難に対しての対応の計画はあるか
9月5日	10	内田 和彦	1. 「軟骨伝導イヤホン」導入について (1)同イヤホンは、耳の入り口付近にある軟骨を振動させて音を伝える仕組みになっており音漏れも少なく軟骨に軽く充てるだけでイヤホンとつないだ集音器で拾った音をはっきり聞こえます。茨城県内では、日立市役所が同イヤホンを導入しています。 ①窓口業務を行う際に耳が聞こえにくい方に対してどのような配慮を行っているか。
			2. 空き家対策について (1)空き家もたらす問題として「雑草・悪臭など衛生環境の悪化」 その他にも放火や不法投棄の温床になったり賃貸住宅の場合は空き家、空き室は経営的にも影響を及ぼします。 ①空き家の実態と地区別空き家戸数 ②空き家バンク登録件数 ③空き家の原因による近隣住民の苦情について

小美玉市議会令和6年第3回定例会一般質問通告一覧

日にち	質問順	議員氏名	質問内容
9月6日	11	香取 憲一	1. ICTを活用した消防団活動の充実・効率化について (1)ICT化の進捗状況 (2)消防団員の反応はどうか (3)今後の課題と展望について
			2. 旧小川小学校解体における歴史的遺物の取扱について (1)解体の現況と進捗状況はどうか (2)歴史的遺物の状況と今後の取扱について
			3. こども家庭センターの稼働状況について (1)こども家庭センターの業務内容の詳細及び活動状況の現状を伺う (2)課題と問題点について伺う
9月6日	12	鈴木 俊一	1. 食の安全保障について (1)小美玉市の農地(耕作放棄地)について (2)小美玉市の農業者(平均年齢・人数)について (3)小美玉市の主要農産物について (4)市の食料自給率について (5)給食の地産地消について (6)種子法が廃止されたことについて (7)茨城県主要農産物等種子条例について (8)食料危機の備えについて
			2. エネルギーの地産地消について (1)市内の太陽光発電の状況について (2)エネルギーの自給率について (3)先端技術をいかした発電について (4)大規模停電への備えについて
9月6日	13	村田 春樹	1. 市内投票所について (1)令和5年6月定例会一般質問で市内投票所のバランスについて質問させていただきましたが、市として現在の進捗、改善点今後の課題について伺う
			2. 小美玉市DX推進について (1)DXの現在の進捗状況について伺う
			3. おみたまっ子応援パッケージについて (1)子供達の未来に向けて英語教育のさらなる強化を提案
			4. スクールバスについて (1)遠距離通学となる児童に対して国の基準では4Km以上からですが、小美玉市では独自に3Kmと定めていますが、その根拠について伺う <提案> 子供の通学の安全上、2Km以上からスクールバスを利用出来るよう提案させていただきます